

各校各位

明治学院大学

本学での「入学前教育」の取り組みについて（予定）

推薦入試で合格した受験生に対し「入学前教育」を実施している学部・学科の取り組みについて、下記の通りご紹介いたします。詳細は各学科よりご連絡がありますが、ご連絡のタイミングは学科によって異なります。なお、掲載のない学科は入学前教育を実施していません。

記

【文学部 英文学科】

英文学科では、入学後に充実した4年間を送っていただくために、推薦入試に合格され入学手続きをしてくださった方を対象とした **Pre-entrance One-day Seminar** を行います。そこでのオリエンテーションを通じて、大学生として相応しい学習姿勢について学ぶことができます。

今年度は12月11日（土）に、オンライン（Zoom）での開催となります。具体的内容は、入学前及び入学後の勉強方法などを説明します。参考図書やネットでの情報を提供し、入学前までの準備をどのように行ったらよいのかについて指導します。また、模擬授業も開かれ、本学科の英語学習/実践を垣間見ることができます。英語での授業も行われる予定です。さらには、在校生とのQ&Aの時間が設けられ（同在校生によるヴァーチャルキャンパスツアーも含む）、先輩の生の声を直接聞くことができる貴重な機会にもなります。これから本学科で共に学ぶ他の入学予定者と知り合う良い機会にもなりますので、奮ってご参加ください。詳細は手続き後、別途お知らせいたします。

【文学部 フランス文学科】

フランス文学科では、推薦入試によって入学するみなさんに対し、大学で学び始めるにあたっての基本的な知識を身につけていただくために、フランス文学およびフランス文化にかかわる著作の中からぜひ読んでおいてほしいものを選定し、これに関する課題レポートの提出を求める予定です（字数、提出期限、提出方法などの具体的な指示は、著作リストとともに、1月頃にお手紙でお伝えします）。提出されたレポートに対しては、コメントをつけた上で、入学後の専任教員担当の授業において返却します。

【経済学部 経済学科、経営学科、国際経営学科】

経済学部では、推薦入試によって入学して来る皆さんに、合格発表から入学までの期間を有効に利用していただくため、通信方式の「明治学院大学 経済学部 入学準備プログラム」を用意しています。

大学での学びは高校とはかなり異なるため、入学後に戸惑いを覚える新生も少なからず見られます。このプログラムは、推薦入学制度によって早い時期に入学が決定した皆さんに、高校から大学への移行を少しでも円滑にし、また入学後の学びに役立てていただくことを目的としています。

プログラムは、「数学」、「英語」および「国語」からなり、教材は「駿台教育研究所」に委託して経済学部の教員の助言の下に作成します。「数学」は高校で習ったことの復習が中心です。「英語」と「国語」は入学後の学習の準備と考えてください。それぞれ図書を指定し、読解問題に加え、論述式

の課題によって論理的な文章の作成方法を学びかつそれを実践してもらいます。日本語・英語を問わず、文章を読み理解した上で、自分の考えを表現することは、入学後の勉学に必ず役立ちます。プログラム等の詳細は、合格発表後に別途お知らせします。

本プログラム受講に当たり、20,000 円程度の費用の負担となりますが、プログラムの意義を理解し、入学予定者全員が受講するようお願いしています。

【社会学部 社会学科、社会福祉学科】

社会学部では、推薦入試による入学予定の皆さんに、入学準備プログラムを実施しています。入学までの期間を利用し、4月から始まる社会学、社会福祉学の学びの準備を進めてください。具体的には、「英語」「国語」「日本史（特に近現代史）」について、高校時に学習した内容を通信方式で振り返り、身につけた知識としたうえで、大学の講義に臨めることを目的としています。（教材は「駿台教育研究所」に委託し、社会学部教員の助言に基づき作成しています。）

「英語」は長文読解、「国語」も課題図書を読み、要約や記述を行ったうえで返却する方式です。「国語」については、詳細な添削をしたうえで返却しますが、一定レベルに達していない場合は再提出をしていただき、二回目の添削をしたうえで再返却します。これらは、大学の多くの講義で課される文献講読やレポート執筆の基礎となる内容です。また、日本史における近現代史は、現代社会並びに社会福祉というシステムが成立する過程を理解するうえで不可欠な知識ですが、高校生にとっては理解不足になりがちな領域でもあります。ぜひ、プログラムの中で再学習し、4月からの学びに生かせるようにしてください。プログラムの詳細については、合格発表後に別途お知らせします。

受講にあたり、20,000 円程度の費用負担となりますが、プログラムの意義を理解し、入学予定者は全員が受講するようお願いしています。

【法学部 法律学科】

法学部法律学科では、推薦入試合格者を対象に、①「推薦入試合格者ガイダンス」および②「入学準備プログラム」（受講料：15,000 円）を実施します。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております。

①推薦入試合格者ガイダンスは、12月中に白金キャンパスで開催予定です。当日は、推薦入試に合格された皆さんが充実した大学生活を送ることができるよう、オリエンテーションを行うほか、入学準備プログラムについての説明などを行います（詳細は、対面、オンラインまたは両者併用開催かも含めて合格発表後に別途お知らせします）。

②入学準備プログラムは、法律学科での学びに必要な読解力や論述力の養成を目的として、「英語」および「国語」の2科目で行います。内容は、英語は主に法制度に関係する長文読解（2回）、国語は課題図書（1冊）の要約・読解（2回）です。皆さんから提出していただいた答えは添削した上で返却し、あわせて、一定のレベルに達していない方については再提出の指示を行います（再提出された答案も添削し、返却します）。入学準備プログラムに取り組むことにより、入学後、大学での学びにスムーズに入っていくことができます。詳細は推薦入試合格者ガイダンス等でお知らせしますので、全員受講して下さい。

【法学部 消費情報環境法学科】

法学部消費情報環境法学科では、特別入試（自己推薦 AO 入試を含む）の合格者全員を対象に、大学における学習の基礎となる読解力と文章作成能力を養成することを目的とした「入学準備プログラム」

(駿台教育研究所と提携)を実施します。科目は「英語」および「国語」の2科目です。内容は、英語は長文読解(2回)、国語は課題図書(1冊)の要約・記述(2回)です。提出された答案については、採点を行い、詳細な添削を行った上で返却します。また、答案が一定の評価に達していない場合には、答案の再提出を行ってまいります。このようなプログラムを通じて、大学入学後に必要とされる能力を高めてもらうことを目標とします。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております。

詳細については合格発表後に手紙でお知らせします。また、12月中旬に白金キャンパスにて特別入試合格者ガイダンスを実施し、入学準備プログラムについても併せて説明しますので、必ずご参加ください(詳細は、対面またはオンライン開催もしくは両者併用開催も含めて合格発表後に別途お知らせします)。

【法学部 グローバル法学科】

グローバル法学科では、推薦入試(AO入試を含む)の合格者全員を対象に、本学科における学修の基礎力となる読解力・文章作成能力および英語の語彙力・表現力を養成し、入学後の授業にスムーズに対応できるように、「入学準備プログラム」を実施します。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております。

合格者発表から入学までの間に、国語と英語の2科目について、それぞれ2回の課題提出が課されます。国語では、課題図書を読んだ上で、記述問題を解いてまいります。英語では、長文読解問題を解いてまいります。

これに加えて、グローバル法学科では、さらに英語の語彙力・表現力を高めるために、英語の自習教材を指定し、進行状況を自分でチェックリストに記入しながら自習する課題を課します。チェックリストは入学後に提出することになります。

「入学準備プログラム」の説明会は12月に開催する予定です。詳細は、対面またはオンライン開催もしくは両者併用開催も含めて合格発表後に別途お知らせします。

【法学部 政治学科】

法学部政治学科では、大学における主体的な学習能力、理解力、読解力、文章作成能力を養成するため、その準備として入学前教育を導入します。推薦入試合格者に対して、学生自身が興味のある書籍、映画、雑誌・新聞記事、芸術作品などの作品を自由に20点選択し、選択した作品の各々について、選択理由や内容の要約を含む紹介文を執筆すると共に、それらの作品全体から社会的・政治的諸問題についていかなる知見を得ることが出来たのか説明するレポートを提出するよう求めます。提出されたレポートを政治学科専任教員が確認し、学科必修科目である「政治学基礎演習」の担当教員より、本人に返却します。法学部ではこのプログラムの受講を原則として必須としております(詳細は、合格発表後に別途お知らせします)。

【国際学部 国際学科】

国際学部国際学科では、推薦入学に合格した皆さんが時間を有効に活用して入学後の学習に備えるために、入学前教育を実施しています。

入学前教育は以下の内容から構成されています。

1. 読書課題(該当者必修):新書5冊(うち学科推薦図書リストから3冊)を読んで読書メモを作る課題です。本を読む習慣を身につけ、自分の考えを分かりやすい言葉で表現する能力を養います。提出物は入学後に教員が確認し、コメントをつけて学生に返却します。

2. 英語課題（該当者必修）：リーディングとリスニングの問題から構成されます。各自で事前に解答を準備し、入学後に大学のオンラインシステムを通じて提出してもらいます。
3. 国際学科入学準備プログラム（選択制、10,000円程度の料金が発生します）：(株)Z会が提供する日本語と英語のライティング講座です。日本語の小論文と英作文の課題を通して論理的な文章の書き方を身につけます。提出した課題は添削を受けて再提出してもらいます。

【国際学部 国際キャリア学科】

国際学部国際キャリア学科では、推薦入試によって4月に入学される皆さんに対し、合格してから入学までの期間を有効に利用し、入学時に英語による授業にスムーズに取り組めるようにするため、

「国際学部国際キャリア学科 入学準備プログラム」を用意しています。このプログラムは皆さんの読解力向上のためのプログラムで、リストアップした本（英語および日本語）の中から数冊を選んでいただき、それについての感想を、できるだけ明解な英語でレポートにまとめていただくものです。それを通して皆さんに専門書を含む読書の習慣とその基礎能力をつけていただくことが目的です。

本学科の推薦入試合格者の皆さんは、できる限りこれらのプログラムに参加していただけますようお願い致します。

【心理学部 心理学科】

心理学部心理学科では、推薦入試によって入学して来る皆さんの、合格してから入学までの期間を有効に利用し、入学後の心理学科での学びに役立つよう、レポートの書き方、英語、統計、心理学の概論、カウンセリングに関する図書を紹介し、入学前の学習を勧めています。入学が決定された方々は、大学での勉学が充実したものとなるよう、事前の学習に積極的に取り組んでください。また、上記推薦図書の一部については、課題レポートの提出を求め、コメントをつけて返却する予定です（字数や提出期限、提出方法など、レポートに関する具体的な指示は、12月頃発送予定のお手紙でお伝えいたします）。

【心理学部 教育発達学科】

教育発達学科では、推薦入試合格者全員を対象に、入学後に教育発達学科での学習を円滑にすすめることができるよう、入学前教育プログラムを実施します。このプログラムでは、①国語・英語の読解力と表現力の維持と向上を目的としたウォーミングアップ講座（14,000円（税別））が必須です。①に加えて、②教育発達学科での学びに必要な数学・理科・英語の教科別学習プログラム（10,000円（税別））を追加選択することができます（①と②で計24,000円（税別））。

①では、教育発達学科での学びに関連したテーマの長文（日本文と英文の2種類）を読み、文献を調べ、調べた内容について考え、自分の言葉でまとめることが含まれます。②では、数学・理科・英語のうち入学までに基礎固めをしておきたい科目を1つ選択できます。12月から3月にかけて、3回に分けて課題に取り組み、添削・採点およびフィードバックを受けることで、大学生としての学びの基礎を培います。

以上